

男女共同参画推進室便り

神戸大学男女共同参画推進室 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 tel. 078-803-5017 fax. 078-803-5285 分室 tel/fax. 078-803-5471

女性研究者養成システム改革加速「レボリューション！女性教員養成神戸スタイル」に向けて —工学研究科としての取り組み 課題と挑戦—



工学研究科長
小川 真人

(おがわ まつと)

専門は、ナノ材料・デバイス設計、計算ナノエレクトロニクス。神戸大学助手、IBMフロンティア研究所客員研究員を経て、2002年神戸大学工学部教授。2011年から工学研究科長。

男女共同参画推進室を中心とする活動のお蔭により、神戸大学教員全体における女性教員の比率は年々増加し、平成22年度末には13%まで増加しています。一方、神戸大学工学研究科では、全教員数に対する女性教員数の比率はこの4年間で増加しつつあるものの、昨年度は6.5%(*1)と、他部局と比べ低いのが、現在の大きな課題となっております。工学研究科の中には、建築学専攻、市民工学専攻、電気電子工学専攻、機械工学専攻、応用化学専攻と5専攻あるのですが、「きつい」「汚い」「危険」のいわゆる3Kの印象をもたれるのか、あるいは「難しい」「取りつきにくい」と考えられるのか、化学系を除き、材料を扱う分野では女子学生や女性教員はほとんどおりません。平成22年度採択の科学技術振興調整費「女性研究者養成システム改革加速」プログラムにより、工学研究科では、新たに5名の女性教員を採用し、工学の新たな位置づけを模索してゆく予定です。今後、化学にあこがれ、キュリー夫人のようにになりたいという女子学生が工学部に入学してくることはもちろん、プログラムが一層発展し、本学の相馬芳枝先生や猿橋勝子、エミー・ネーター、ソーニャ・コワレフスカヤ、ロザリンド・フランクリン等々（敬称略）の業績にあこがれ、それ以上の成果を残そうと活躍される女性研究者を育成、輩出できればと願うところです。

(*1) <http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/data/pdf/joseihiritsu.pdf>

相馬特別顧問 女性化学賞を受賞！

国連は、キュリー夫人のノーベル化学賞受賞およびIUPAC(国際純正・応用化学連合)の設立100年を記念して、2011年を世界化学年と決めました。世界化学年事務局は優れた業績を挙げた世界の23名の女性化学者を顕彰する賞を設立し、日本化学会より推薦された相馬芳枝神戸大学特別顧問が、23名のうち1名に選ばれました。本学では、6月17日に記者会見がおこなわれました。



開催決定!!

理系志望の女子高校生向けオープンキャンパス

男女共同参画推進室では、女子高校生を対象とした、理系の進路選択を支援するためのプログラムを実施します。気軽に大学生活や勉強について先輩に質問することができます。

理学部志望者向け 8月5日(金) 17:10頃～
工学部志望者向け 8月9日(火) 16:50頃～

今年度の「子育て中の男女研究者支援」は
15名(女性11名、男性4名)への支援が決定しました！
研究支援員が平成24年3月末まで週6時間あるいは10時間配置されます

UNESCO会議に出席しました

男女共同参画推進室 ツェンコヴァ・ルミャナ室長がイスラエルで開催された
ユネスコ主催の国際会議に出席しました



右からユネスコ ポコヴァ事務局長、
ツェンコヴァ室長、コラットジェンダー部門長

国際会議「International Women Leaders Conference on SCIENCE, TECHNOLOGY AND INNOVATION: Education and Training for Women and Girls」は、イスラエルのハイファで5月29日から6月3日まで6日間開催され、世界から科学・技術と女性の教育に携わる政治、研究、NPO分野などから約60人の女性が招待されたものです。会議では、人種や性別に関わらない教育の機会平等、特に、科学・技術における女性に対する教育と訓練について議論されました。会議の最後には、科学・技術における女性への教育機会の平等などについて、「ハイファ宣言」が出されました。

NEWS!

ツェンコヴァ・ルミャナ室長が、南アフリカのケープタウンで5月13日に開催された国際会議の近赤外分光学会でポスター賞を受賞しました。

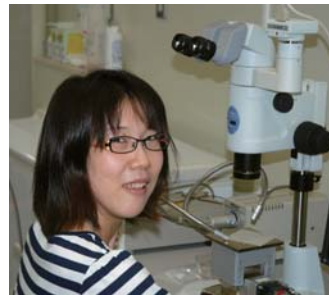


佐倉 緑

(さくら みどり)

専門は無脊椎動物を用いた神経行動学。北海道大学博士課程修了，工学博士。東京大学薬学部機関研究員，チューリッヒ大学動物学専攻博士研究員，北海道大学電子科学研究所博士研究員を経て，2011年1月から神戸大学大学院理学研究科講師。

現在、主にミツバチのナビゲーション行動をテーマに研究をすすめています。働きバチは採蜜のために、時に10kmもの距離を飛行しますが、迷うことなく巣まで帰ってきます。さらにその場所を記憶し、巣仲間に8の字ダンスとして伝えることがよく知られています。ミツバチの非常に小さい脳の中でこの空間認識と場所記憶がどのように実現されているのか、を神経回路レベルで明らかにしていきたいと思っています。宜しくお願いいたします。



保井 みなみ

(やすい みなみ)

2010年3月に名古屋大学博士後期課程修了、博士(理学)を取得。日本原子力研究開発機構の博士研究員を経て、2011年2月神戸大学自然科学系先端融合研究環助教に着任。専門は実験惑星学、宇宙雪氷学。

神戸大学に着任してもうすぐ半年を迎えます。研究室にも慣れ、これから本格的に自分の研究を始めようと今、色々悩んでいるところです。私が所属する研究室の学生は皆、真面目で熱心で、私もやる気もらっています。そして、先生方や研究員の方の話を聞き、毎日色々教えられ、そして学ばせてもらっています。学位をとったとはいえ、まだまだ研究者や社会人としては半人前以下です。今後も神戸大学で色々なことを習得したいと思っています。

着任教員のご紹介



分室のご案内

男女共同参画推進室の分室にもお気軽にお立ち寄りください。

場所：自然科学総合研究棟 2号館 101号室

神戸大学 男女共同参画推進室

男女共同参画推進室シンボルマーク

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL 078-803-5017 / FAX 078-803-5285 分室 TEL / FAX 078-803-5471

Email: gnrl-kobestyle@office.kobe-u.ac.jp

HP: <http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/index.html>

